

## 外部指導者を活用した運動部活動の運営や指導の在り方について

### 【ポイント1】 部活動の目指す方向性についての共通理解

学校は、運動部活動が学校教育活動の一環であることを外部指導者に周知する。また、部活動の指導に当たっては、下記のことに留意する。

#### 運動部活動指導上の留意点

- 1 生徒が豊かな学校生活を送りながら人間的に成長していくという運動部活動の基本的な意義を踏まえ、生徒の主体性を尊重した運営に努める。
- 2 外部指導者と顧問教諭が指導方針や指導計画等について情報交換することにより、顧問教諭の指導力が向上することから、外部指導者にすべてをゆだねないようにする。
- 3 バランスのとれた生活やスポーツ障害を予防する観点から、発達の段階に応じて、年間を通じての練習日数や1日当たりの練習時間を適切に設定する。
- 4 生徒の健康管理及び安全の確保に十分配慮する。また、いかなる場合においても、体罰が行われることのないよう留意する。

### 【ポイント2】 顧問教諭と外部指導者の連携

明確な役割分担に基づき、年間を通じて安全かつ効果的な指導を確実に行うために、顧問教諭と外部指導者の連携を密にし、指導体制を確立する。

#### 顧問教諭と外部指導者との連携のポイント

- 1 年度当初に十分な打合せを行い、学校の年間行事予定を踏まえた年間指導計画を作成するとともに、指導方針や指導内容について共通理解を図る。
- 2 安全面に配慮した指導を行うとともに、万一の事故に備え、事故発生時の対応について共通理解を図る。
- 3 日程を調整しながら、定期的な打合せの機会を設定するとともに、打合せができないときの連絡方法を工夫する。（電子メールや指導日誌の活用など）

### 【ポイント3】 役割分担の明確化

顧問教諭と外部指導者が協力し、効果的な指導を行うためには、役割分担を明確にするとともに互いの役割について共通理解を図る。

#### 顧問教諭と外部指導者の役割分担のケース

- 1 顧問教諭は部活動運営にかかわる業務を担当、外部指導者は実技にかかわる業務を担当する。
- 2 顧問教諭は初心者の指導や基礎技術の指導を担当、外部指導者は上級者の指導や応用技術等にかかわる指導を担当する。

## 外部指導者（監督・コーチ）について

### 【外部指導者活用の基本的な考え方】

学校教育活動の一環として設置している運動部活動の顧問は、学校の職員をもって充てる。ただし、学校長は、運動部活動の専門性により技術面の指導が不足する場合、外部指導者を充てることができる。

### 【大会への参加について】

大分県高等学校体育連盟の主催大会において、当該学校長から下記 1 の条件を満たし者が外部指導者（監督・コーチ）として大分県高等学校体育連盟に申請された場合は、外部指導者として大会への参加を認めるものとする。

### 記

#### 1 外部指導者（監督・コーチ）の資格

- （１）技術はもとより、教育的識見を備えた者。
- （２）当該校の学校長が適任と判断し、契約書を交わした者。
- （３）スポーツ安全保険等の傷害・賠償保険へ加入している者。

#### 2 登録にあたっての留意事項

- （１）高体連への登録は、単年度とし、申請時期は 4 月末日までを原則とする。  
（但し、状況により年度途中の登録を認める。）
- （２）登録有効期間は、高体連外部指導者登録手続きの完了日から、当該年度の 3 月 31 日までとする。

#### 3 登録の手順について

- （１）当該学校長は、適任とされる外部指導者と契約書を交わす。
- （２）登録申請は所定の「外部指導者登録届出書」と契約書の写し・スポーツ安全保険等加入証の写しを高体連会長宛に提出する。
- （３）外部指導者用スポーツ安全保険への加入を高体連へ委託する場合は、高体連の専用口座へ、学校名で合計額を振り込む。
- （４）外部指導者登録証を高体連事務局から受理する。

#### 4 確認事項

- （１）高体連に登録された外部指導者（監督・コーチ）は、県高体連主催大会に参加できるものとする。（一部競技は除く。別紙参照）
- （２）外部指導者として認めるかどうかは当該学校長の判断である。
- （３）外部指導者に指導の方針・内容等について十分説明し、役割分担を明確にし、共通理解を図りながら連携して指導する。
- （４）外部指導者の交通費、謝金等は当該校で判断する。
- （５）外部指導者は大会時、必ず外部指導者登録証を胸部に示しておく。

[ Q&A ]

1 高校の教員は可能か？

( 回答 ) 可能である。

全日制の教員が他校を指導することは望ましくない。  
ただし、特別な場合（特殊競技の競技力向上）認める。  
実習助手等の職員（特勤手当の対象外）は、自校の指導をしていない場合はよしとする。

2 人数の制約はあるのか？

( 回答 ) なし

3 専門の指導者がいる場合、外部指導者は認められるのか？

( 回答 ) 認める。

学校の事情（分掌主任等により指導ができない場合より認める。

4 二重登録は可能か？

( 回答 ) 特別な場合は認める。（未普及競技）

5 外部指導者の所属先の承認は必要ないか？

( 回答 ) 了知でよい。（口頭で了解をとる。）

書面での承認は不要

6 非常勤講師の場合はどうすればよいのか？

( 回答 ) 外部指導者として登録する。

## 外部指導者登録届出書について

### 1 外部指導者について

外部指導者活用の基本的な考え方や資格、登録の手順等を記載している「外部指導者（監督・コーチ）について」の内容を確認してください。

### 2 外部指導者登録の手順

- (1) 学校長と外部指導者間で、契約を締結する。  
・県高体連様式（例）を参考にしてください。



- (2) 「外部指導者登録届出書」を県高体連会長宛に登録申請する。  
・届出書は、記入例を参考にしてください。  
・届出をする際には、以下の①～③の関係書類を添付してください。  
①外部指導者登録届出書  
②外部指導者契約書  
③スポーツ指導者用安全保険等の加入証の写し  
※スポーツ安全保険の内容、加入手続き等は、下記のWebでご確認ください。

<https://www.spokyo.jp/spoannel.htm>



- (3) 関係書類を県高体連事務局に郵送または持参する。



- (4) 「外部指導者登録証」を高体連事務局から受領する。



- (5) 外部指導者は、大会参加時に「外部指導者登録証」を胸部に示しておく。

### 3 外部指導者のスポーツ安全保険への加入を、県高体連に委託する場合

- (1) 以下の金額を県高体連に郵送または持参するか、指定口座に振り込んでください。  
※振り込み口座や手続きについては「銀行口座振込通知書」で確認してください。  
○64歳以下・・・2,000円  
○65歳以上・・・1,350円  
※年齢の判断は、各学校の届出により事務局が「保険加入手続きを行う日」です。  
確認・加入手続きに数日かかりますので、判断が難しい場合は、御相談ください。

- (2) 保険契約の内容については、外部指導者に提示し、了解を得てください。

- (3) 保険契約期間について  
・高体連が外部指導者登録を完了した翌日の午前0時から、当該年度3月末日までです。  
・外部指導者証も同様の扱いとなります。

### 4 外部指導者のスポーツ安全保険への加入を各学校でする場合

- (1) ネットで新規登録をして、保険契約をして保険料を納付する。  
・初回は4名以上必要ですが、追加は1名でも可能です。

- (2) 「スポーツ安全保険団体員名簿」を県高体連に提出する。